

▼タバリス錠 [内]

【重要度】	【一般製剤名】	ホスタマチニブナトリウム水和物	Fostamatinib Sodium Hydrate	【分類】	経口血小板破壊抑制薬 [脾臓チロシンキナーゼ阻害薬]
【単位】	▼100mg・▼150mg/錠				
【常用量】	回投与量 100mg を 1 日 2 回				
4 週間以上投与しても目標とする血小板数の増加が認められず、安全性に問題がない場合は 150mg を 1 日 2 回に増量					
血小板数、症状に応じて適宜増減する [最大 1 回 150mg を 1 日 2 回]					
目標血小板数 5 万/ μ L 以上とし、25 万/ μ L 以上で減量または休薬					
【用法】	1 日量 150mg までは 1 日 1 回、200mg 以上では 1 日 2 回				
12 週以内に効果判定					
【透析患者への投与方法】	常用量 (1)				
【保存期 CKD 患者への投与方法】	常用量 (1)				
【特徴】	慢性特発性血小板減少性紫斑病				
【主な副作用・毒性】					
【安全性に関する情報】	UGT1A1 を阻害するため、T-Bil、間接 Bil の上昇が認められることがある (1)				
【F】	活性体として 55% (1)				
【tmax】	1.5～3hr (1)				
【代謝】	小腸でアルカリホスファターゼにより活性本体である R406 に代謝され、脾臓チロシンキナーゼを阻害 (1) 活性体は CYP3A4、UGT1A9 で代謝 (1)				
【排泄】	尿中回収率 19.3%で活性体はわずか (1)				
【t1/2】	13～16hr (1)				
【蛋白結合率】	98.3% (1)				
【Vd】					
【MW】	732.51 [6 水和物]				
【透析性】					
【O/W 係数】					
【相互作用】	未変化体は P-gp、BCRP を阻害 (1) 活性体は BCRP を阻害 (1)				
【肝障害患者への投与方法】					
【小児 CKD 患者における報告】					
【妊婦・授乳婦への投薬】					
【主な臨床報告】					
【更新日】	20240427				

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。